

社内の複雑なインターフェイス環境を管理するデータ総合基盤ツール Informatica PowerCenter 導入支援サービス

「Informatica PowerCenter®(以下 PowerCenter)」は米国 Informatica Corporation が開発し、企業内に分散しているデータを抽出して統合する ETL(Extract/Transform/Load) 機能を搭載した企業内の複雑なデータの流れを管理するデータ統合プラットフォームです。

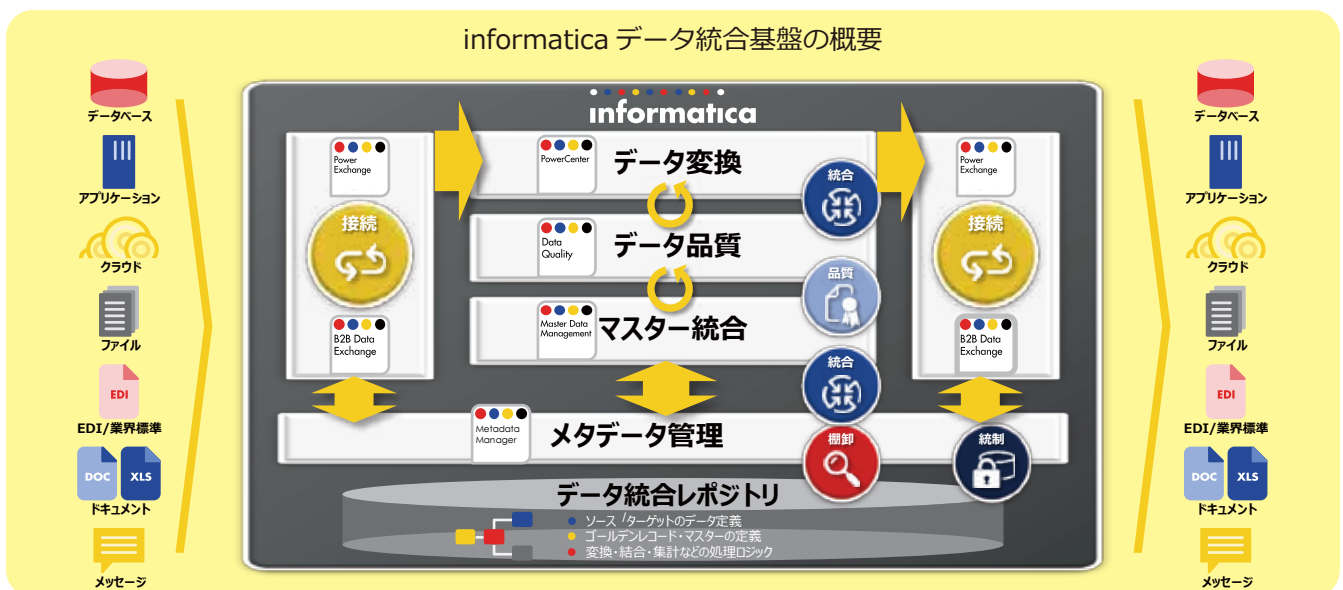
「PowerCenter」を利用することで GUI 画面による、データソースの定義やターゲットシステムに出力するデータの定義、マッピングの作成、マッピングを実行するワークフローの定義が可能になります。

また不正なデータによる手戻りを防止するデータプロファイリング機能、オブジェクト検索機能、複数システムにまたがるデータの流れを可視化する Metadata Manager により、システム開発・保守の効率化を実現します。

尚、2014 年 1 月現在での国内実績は、300 社です。

特長

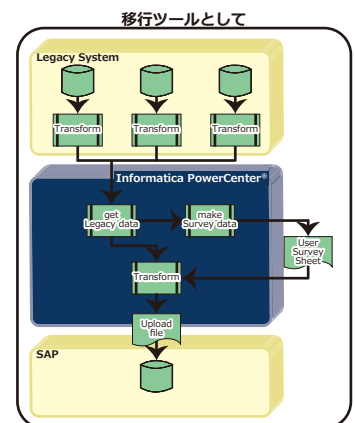
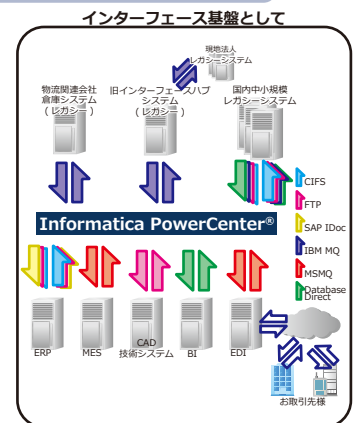
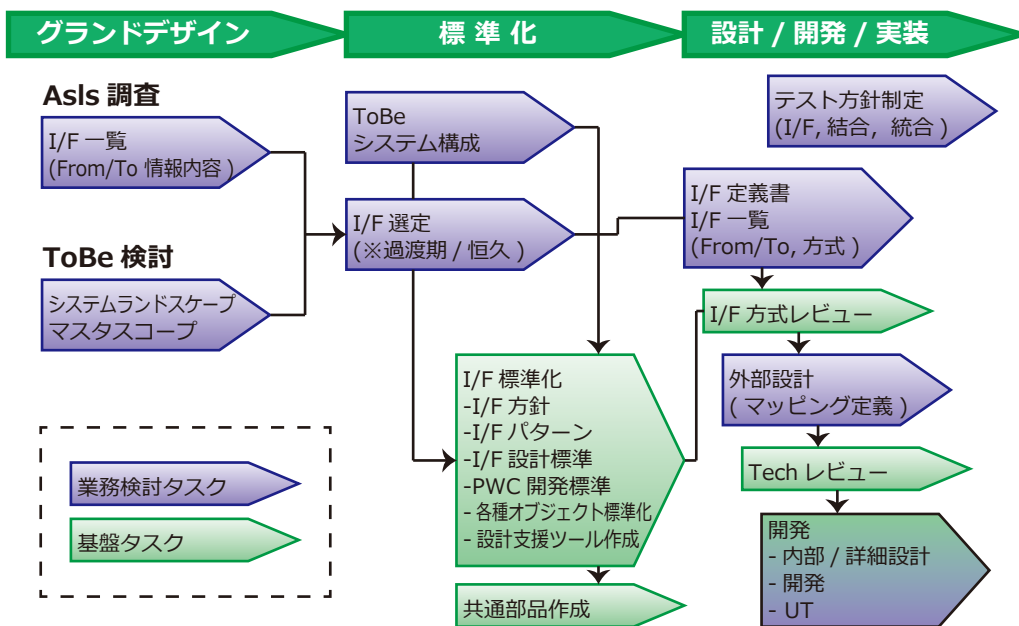
- **ユーザが必要な時必要な形でデータを抽出することができます**
必要に応じてデータにアクセスし、最適な情報を入手することが可能です。
- **ミッションクリティカルなニーズを満たします**
システム間のリアルタイムなデータ統合へのニーズに応える数々の機能を搭載しているため、企業レベルのデータ統合の理想的な基盤です。
- **業務効率の向上を可能にします**
プロジェクト間の生産性を高めると共に、部門間でも効率的に協業します。部門横断型プロジェクトも標準化・管理の簡素化・コスト削減が可能となります。



ALSI が提供する「Informatica PowerCenter」導入支援サービス

PowerCenter を単に導入するだけでは、実装時の I/F 本数の増加、テスト時の設計・開発の手戻り、本稼働後の保守・運用効率減が発生してしまいます。ALSI は、お客様のシステム統合ニーズに沿った I/F 開発標準を実装工程前に構築し、効果的な開発を実現することで、「PowerCenter」導入メリットを最大限に引き出します。

Informatica PowerCenter 利用に向けた開発標準作成ステップ



開発事例：電子部品メーカー様

SAP/Legacy 移行と I/F 基盤を PowerCenter で実現。
設計工程の遅れを PowerCenter 開発工程でカバーし、納期遵守！

導入前の課題

- ☑ 大量のマスタ、トランザクションの移行データ処理時間の短縮
- ☑ SAP iDoc の量が多すぎて、SAP PI では処理しきれない
- ☑ 開発者を短期かつローコストで柔軟に用意したい
- ☑ SAP 側の Addon 工数を削減したい

導入期間 開発標準制定：3 カ月、
設計・開発期間：6 カ月（移行、I/F 合わせて 170 要件）

導入効果

開発者短期養成、開発・単体テスト工数短縮、標準 iDoc 利用による SAP Addon 工数削減、大量データの処理時間短縮

導入機能 PowerCenter: PowerExchange for FlatFiles, PWC RealtimeEdition, PWC Team-Based DevOption
I/F 基盤: IBM WebSphereMQ, MSMQ, FTP, CIFS, SAP ALE(RFC)
SAP: ECC(FI,CO,MM,SD,LES,PP), SCM(APO,SNC), PLM(ECM,PS),EPM(BPC<NW>), FSCM-ECC(CM,LP),
N/W(PI,BW,EP,Adobe,Solman,QC,LR)
Flexnet(MES)
Obbligatto(PDM)
その他基盤: JP1

※記載されている会社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。 ※このカタログの記載内容は、2014年 4月現在のものです。 ※記載された内容(画面含む)は、改良等により製品と異なる場合があります。